

うれいの

議会だより

議長・副議長決まる 2P

町道一本松線予算なくなる 9P

一般質問 15人 12P

議会広報編集委員会発足 24P

吉浦神社 春の大祭

創刊号 3月定例議会・臨時議会合併号 平成18年4月27日発行

議会が動き出す

議長・副議長が決まりました

合併に伴い市議会議員選挙がおこなわれました。22人の定数に対して23人が立候補し、両町交えて激しい選挙戦がおこなわれました。2月5日の投票の結果、新しい議員が誕生し、新議員による臨時議会が2月13日に開かれました。

議席決定後、正・副議長の選挙、三つの常任委員会委員の選任など構成がなされ、新しい議会活動が始まりました。

17年度一般会計予算、国民健康保険費など7つの特別会計予算、条例の一部改正を含め、24議案が提出され、慎重な審議の結果賛成多数で可決されました。



山口 要 議長

本年1月1日をもって新嬉野市が発足し、議会も新しい体制でスタートすることになりました。地方議会は「会として議さず、議して論ぜず、論

じて決さず、決して行わず」という表現で抑捺されますが、本議会においては、そのような議会にならないよう活発な議論を深め、執行部のチェック機能としての役割を高めていくつもりです。更には、このような「議会だより」などを通じて、市民の皆様に関わりやすい議会とするため、私自身

も議長としてこれらの改革に取り組んでいきます。



織田 菊男 副議長

私は、多くの議員の皆様から励ましと、ご支援により当選させていただきました。

現在最も大切な事は、合併により誕生いたしました新嬉野市が、一日でも早く一体となって同一の方向に進み、活気ある新市を作ることだと思います。

私も、議長の補佐役として議会の運営、活性化のため努力いたします。

今後は、市民の皆様の声が、十分に議会に反映されるよう努めてまいりたいと思います。



▲新市を担う新議員の顔ぶれ

臨時
議会

時
会

新嬉野市

総務企画委員会 8人

総務企画委員会は8人で構成され、総務課、財政課、企画課、地域振興課、市民税務課、議会事務局などを担当します。



田口 好秋



西村 信夫



副委員長 山田伊佐男



委員長 野副 道夫



小田 寛之



芦塚 典子



太田 重喜



山口 榮一



田中 政司



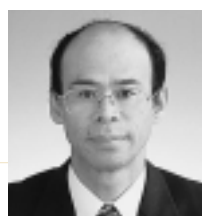
副委員長 平野 昭義



委員長 神近 勝彦



山口 要



梶原 睦也



秋月留美子



園田 浩之



山口 栄秋



副委員長 副島 孝裕



委員長 川原 等



大島 恒典



織田 菊男



深村 繁雄



副島 敏之

産業建設委員会は7人で構成され、農林課、商工観光課、建設課などを担当します。

産業建設委員会 7人

文教厚生委員会 7人

文教厚生委員会は7人で構成され、福祉課、保健環境課、学校教育課、社会教育課、水道課、下水道課を担当します。

105億4900万円

塩田町の 嬉野町の 夢 合併特例債で

平成18年3月定例議会が、3月9日から27日まで19日間の日程で開催されました。

今議会の18年度予算は、両町が一緒になって初めての当初予算になります。

18年度一般会計予算を初め、国民健康保険費など7つの特別会計予算、17年度の補正予算や国民健康保険税条例など15件の条例制定と7件の条例一部改正など36議案が提案され慎重審議の結果、賛成多数で可決されました。(賛否表p16)

一般質問は15名が3日間にわたり市政を質しました。(p12、p22)

社会文化体育館

塩田町の長年の懸案事項だった社会文化体育館建設については、旧塩田町の建設準備委員会、建設地を宮ノ元と町分の2カ所が提案されていました。

新市では、建設地などを検討する委員会を7月頃に立ち上げることにしました。

体育館の内容などについては、基本計画を策定するために、500万円予算計上されました。

大衆浴場

18年度は基本計画を策定するために、500万円予算計上されました。

古湯

大正13年に建設された古湯温泉は町民や観光客に愛され、親しまれてきましたが、老朽化によって現在は取り壊されています。

多くの町民から早期の復活を望まれ、敷地は土地開発公社から1億2200万円で購入取り、市の財産とします。

旧塩田町医療分

所得割	11.2%
均等割	26,000円
平等割	37,000円

旧嬉野町医療分

所得割	9.7%
均等割	26,000円
平等割	38,000円



▲江北町ふれあい交流センター「ネイブル」

新市の予算

地元産業の

育成が不可欠

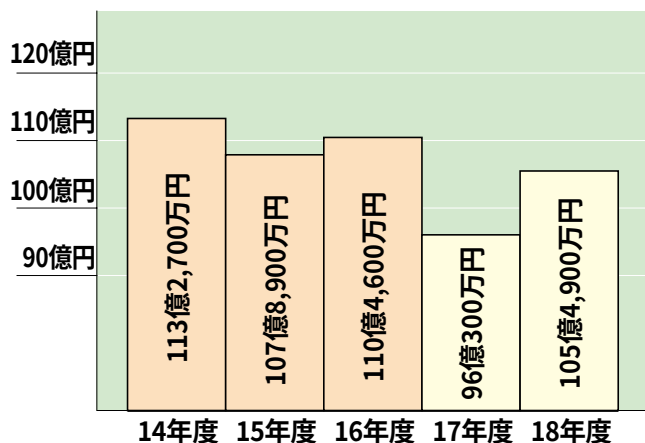
新しい嬉野市の平成18年度予算は、一般会計で105億4900万円です。

17年度の嬉野・塩田両町の予算額は、96億300万円です。増額になった要因は、国・県から市に移譲された生活保護費4億400

0万円などや合併特例債として1億1600万円。国の三位一体改革にとりもなう権限移譲に對しての財源増収になっていきます。しかし、市に収納される税金は、年々減少の傾向にあります。その結果、合併後の市の財政状況は依然として厳しい状況にあります。

力強い市政になっていくためには、地元産業・企業の育成が不可欠になります。行政と民間そして議会が一体となって取り組んでいく必要があります。

予算の推移



※17、18年度は当初予算額

14、15、16年度は2町合計決算額

国民健康保険 税率が変わります

新市医療分

所得割	10.4%
均等割	26,000円
平等割	38,000円

嬉野町と塩田町の医療費分と介護費分は、所得割・均等割・平等割とも課税されそれぞれ違っていました。合併協議会のなかで、保険税については、速やかに統一すること協議されました。

2月の国民健康保険審議会では、費用統一について市長に答申され、3月議会において、課税改正の議案が提出され、慎重審議の結果可決しました。

国民健康保険費の運営については、徴収率が年々低下の傾向が続いています。平成17年度までは、基金を毎年1億円程度取り

崩しての運営が続けていましたが、基金の残額も17年度末の予想として2億3000万円程度と思われる。

国民健康保険の運用を安定して運営するためには、基金も2億円程度が必要となります。そのため、今後の安定した運営のためには、歳出に見合った歳入が必要となります。

また、一人あたりの療養費は、塩田町が県下でワースト5位となっています。

市民の皆さんが、医療費を少しでも抑えるためには、一人ひとりが健康であることが大事です。

新市の予算

効率性を厳しくチェック

昭和56年に建築基準法が改正され、建物は耐震に対して高いレベルを要求されるようになりました。耐震診断とは、部材の耐震性や耐久性があるかどうかを判定するため、柱・梁・壁部材にひび割れが発生していないかコンクリートの強度が設計の時に想定したものと同じ程度か、耐震基準に沿ってチェックします。

塩田中学校は、昭和44年に建てられ築37年を経



▲耐震診断の結果でどうする

地震に耐えるか

塩田中学校

過していますので、耐震診断が必要な建物に含まれます。子ども達が、安全で安心して勉強に打ち込める環境や災害時の避難場所としての機能充実を図るために早急な整備が望まれます。

家庭内雑排水計画を再検討

市民のみなさんの生活環境を改善するために、旧塩田町では、農業集落排水事業がおこなわれています。上久間・美野・馬場下の3地区は工事が完了し、河川の浄化が進みつつあります。旧嬉野町では、今年の4月から公共下水道事業の処理場が稼動し、各家



▲河川の浄化は家庭から

庭の接続が始まりますが、多くの家庭が早く接続されることを期待します。また、塩田町の五町田・谷所地区が、今年度から農業集落排水事業に取り組むことになりました。両町が以前から計画していた家庭からの汚水処理は処理方法が違い、また料金も違う状況にあります。将来同一の料金設定などができるのか、また現在はまだ未整備の地区をどんな処理方法でこなうのか、全市を対象とした調査、研究をおこないます。将来の維持管理費用などを考えて、各地区に適した処理計画ができることを望みます。

動きだした塩田津



▲昔の商家を偲ばせる家並み

塩田津は、国から平成17年12月に「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受けました。

それにともない、国から2400万円、県から1000万円の補助金をいただき、街並み環境調査に800万円、伝建標識と説明板製作に391万9000円、家屋の保存修理補助（4件）に3600万円予算が計上されました。

塩田津では、昭和49年に西岡家が国の重要文化財に、平成10年に杉光家が国の登録文化財に指定されています。

伝統的な町家が建ち並び、景観は、昔の商家を偲ばせ、繁栄ぶりを漂わせています。

特色ある塩田津は、貴重な財産であり、保存して後世に伝えるとともに、新嬉野市の魅力ある街として、今後さらなる地域の協力で、街並みの充実ができることを期待します。

しかし、伝建地区は消防水利などが十分とはいえないため、火災発生時が危惧されます。

今後は街整備と平行して、防火設備の整備をおこなう必要があります。

ほっとひと安心、休日・夜間の小児科診療

小児科医療の医師は全国的にも少なく、子育て中の家庭では、子ども達が休日や夜間に発症した場合の対応をどうすればよいのか、大きな課題でした。

佐賀県の南部地区にある市や町が、負担金を出し合って、武雄・杵島地区医師会の協力のなか、毎週土曜日・日曜日・祝祭日の午後7時から午後9時まで、「武雄地区休日急患センター」で小児（基本的に15歳以下）の時間外診療が今年1月から始まりました。

嬉野市も22万1000円の負担金を計上し、子育て支援の充実を図ります。

しかし、現在の診療時間は2時間と限られているので、将来は24時間診療ができるような体制を作らねばなりません。

お弁当と安心 安全をおとどけ

市内に居住する概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯や、心身の障害及び疾病などの理由によって調理が困難な家庭にたいし栄養のバランスのとれた食事を調理し、居宅を訪問して定期的に食事を提供しています。

その際利用者の安否を確認し、異常があった場合は、関係機関への連絡通報もおこなっています。配食サービスの利用を希望される方は申請書を

書いていただき、審査をおこなって、利用決定通知書を申請者に送ります。現在嬉野地区130名、塩田地区25名がこの制度を利用されていますが、利用されていない方にも訪問介護の折に、この制度の説明をしています。

核家族化や高齢化が進む現在、配食サービスを利用した高齢者世帯とのコミュニケーションづくりが今後重要となります。



▲あったかいうちに配達を

環境保全は水質保全から

動き始めた農集排水事業



▲事業の進展を待つ谷所地区

嬉野市では、今年3月10日から公共下水道事業による、各家庭の雑排水、污水が接続できるようになりました。

当初計画されている事業の完成は、平成30年度を見込んでいます。

自然の生態系を破壊してきた家庭内雑排水を下水道で処理することにより、小川・堤・湖・海を元のきれいな状態に戻すことができます。

対象地域は下宿区・温泉4区の全域です。今寺区・温泉2区・下野区は一部の地域です。

今後の計画は、平成21年度までに温泉1区と4区が全域接続できる予定です。

新市としても、多くの家庭が接続してもらえよう供用開始から3年以内に接続すれば、加入金を半額にします。

さらに、各家庭で改装する場合の積立金制度として、宅内工事費（加入金を含む）の2%（最高2万円）を奨励金として交付する、ゆうゆう水洗化貯金奨励金制度を設けています。少しでもみなさんの負担を減らすために、この制度を利用されることをおすすめします。

環境汚染についての問題意識が広がるなか、五

町田・谷所地区において、

農集排水資源循環統合補

助事業に予算がつき、本

格的に動き始めます。

平成18年度は、基本計

画・地質調査・管理施設

測量・設計などをおこな

います。

平成19年度は、処理場

用地取得・管路工事・処

理場設計など予定されて

います。

平成20年度から、処理

場建設に着手し、平成23

年度に完成し、24年度よ

り各家庭の雑排水・汚水

管接続が可能となります。

嬉野市の河川は、有明

海にそがれています。

有明海の環境汚染は、

諫早湾事業だけの問題で

はなく、有明海にそそい

でいる塩田川も家庭の雑

排水などでかなり汚染さ

せていると思われます。

自然破壊を防止し、子

ども達や孫の世代に美し

い自然環境を残すため

も、早期の完成を望みま

す。

自然をとりもどせ



▲きれいな水になり排水（公共下水処理場）

体育館が移転・改築

大野原小中学校

市道大野原学校線は、大野原地区住民の生活道路として、大野原小中学校生の通学道路としてまた、自衛隊関係車両の進入路として利用されています。

地域の住民は、大変危険にさらされています。

そこで、道路改良工事を行うことで、大野原地区住民の生活基盤整備を図り、併せて自衛隊車両が安全に通行できるようにするものです。

市道の改良工事に伴い、大野原小中学校体育館の移転が必要となり、国が

工事期間中は体育館、運動場の代替施設も含め、大野原小中学校生、並びに地域住民の皆様へ充分な配慮が求められます。

※この事業には、防衛施設周辺整備の補助事業です。



▲今年度解体、19年度新築予定の体育館

17年度

正算
補予

保護者の想い届かず 南下久間地区の通学路

以前より交通事故が多発していた国道498号線の南下久間地区は、中学生の通学路としては、塩田町で最も危険な国道であり、地域住民からも安心して通れる道路整備の要望が強くあがっていた。

旧塩田町では、平成17年3月議会において予算を計上し、遅くとも18年3月までに国道498号線に平行して通学路を整備する予定でしたが、執



▲1日でも早く安全な通学路を

行部の事務手続きの不備により、平成18年度の予算からなくなった。

しかし、新市の臨時議会にて再度予算計上し、早急に通学路の整備に取りかかる計画です。

議会では安心・安全な通学路の整備を、常に議論され早期解決を求めている。

子ども達を交通事故から守るためにも、一日も早い完成が望まれる。

討論採決

条例 予算

国民保護協議会

条例

反対

山田伊佐男議員

国民統制法ではないか

この条例は国民保護法にもとづいて、市において国民保護計画を策定するための前段として協議会を設置するものである

の障害になる住民を排除する目的のように思えてならない。

が、大きな問題は、国民を保護する考え方とは裏腹に、協力を拒否した市民に罰則を設け私権を制限する国民統制法であるといえる。

有事の可能性を想定して、市民の保護計画をつくるより、想定される大地震や自然災害の対策を今まで以上に十分おこなうことが急務である。

国民保護法にもとづき行政が対応すれば、自衛隊は軍事行動に専念でき、住民の安全確保のためなく、自衛隊の作戦行動

有事は努力で避けられる。避ける努力が必要であることを述べて反対する。



3月定例議会 賛否表

	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	結 果	表決数	小田 寛之	大島 恒典	梶原 睦也	秋月留美子	園田 浩之	副島 孝裕	田中 政司	川原 等	織田 菊男	芦塚 典子	神近 勝彦	太田 重喜	山口 榮一	野副 道夫	深村 繁雄	副島 敏之	田口 好秋	西村 信夫	平野 昭義	山田伊佐男	山口 栄秋
嬉野市国民保護協議会 条例	可決	18：3	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成18年度 一般会計予算	可決	19：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
平成18年度 国民健康保険特別会計予算	可決	19：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○
平成18年度 老人保健特別会計予算	可決	20：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成18年度 農業集落排水特別会計予算	可決	19：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
平成18年度公共 下水道事業費特別会計予算	可決	20：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成18年度第七土地区画 整理事業費特別会計予算	可決	20：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成18年度第八土地区画 整理事業費特別会計予算	可決	20：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成18年度 水道事業会計予算	可決	19：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

陳情

住民の声を 議会へ



▲林道田代線

林道田代線 舗装工事と市道認定を

拡張工事が16年度に、17年度は約3分の1の舗道工事ができました。残り120m舗装も痛んだまま凹凸があり通りづらい状況です。

早急に舗装工事をし、市道に認定していただきたくお願いいたします。

下岩屋1区区長

太田 昭登

区長代理

高月 哲也

審査意見

(採択)

願意妥当と認め、現状では林道田代線になっていますので、まず市道認定後、舗装計画に対応されるよう所管課に申し入れました。

産業建設委員会

市道長野線の 早期拡幅を



▲市道長野線

審査意見

(採択)

上不動区皿屋谷地区の市道長野線(650m)は人家と農地も多く、虚空蔵山への登山道であり、交通量も多く、幅員が狭いため、車の事故が多発しています。

ぜひ拡幅をお願いいたします。

上不動区区長

北野 勘一

他区役員関係者一同

審査意見

(賛成少数)

総務企画委員会

願意妥当と認めます。上部箇所にて林道工事が進行中ですので、担当部署にて計画的に対応されるよう申し入れました。

産業建設委員会

不採択

1号

「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情

2号

「最低賃金の改善」の意見書採択を求める陳情

3号

1号と趣旨。

新市を問う

議会をテレビでご覧ください。

放映日時については議会事務局へ(0954-66-9127)

公共下水道の 加入者負担金の減額特例は 副島 敏之 議員

答 事業内容が違い、ご理解を



副島 2月の市報創刊号
公共下水道加入者負担金
のまる得「早期加入の特
例」の記事を読み、多く
の旧塩田町民より電話が
あった。

公共下水道事業を進め
る旧嬉野町は3年以内に

接続したら負担金が2分
の1でよいと書いてある
が、説明を。

市長 事業の内容が違う
ということを理解を。

ただし旧塩田町で推進
されている農排水事業負
担金について、新しい地
区の早期加入の推進につ
いては同じ課題として考
えている。

**新市長の
政治信条・理念は**

副島 旧嬉野町と旧塩田
町が合併し、平成18年1
月1日より新しいまち
「嬉野市」がスタートし、
初代の市長に谷口市長が
誕生された。

新市長としての政治信
条・理念は。

市長 私の政治信条は
「誠実に事にあたる」で
牛歩であろうとも将来に
夢を掲げ努力する。

政治に対する理念は
「公平としての正義」で
ある。理念の言わんとす
るところは、私が正しい
とすることではなく、悠
久の歴史の中で正しいも
のである。このことを正
義ととらえ、努力するこ

とである。

合併後の道のりは厳し
いものであると予想して
いる。嬉野市においても
行財政改革を継続し推進
し、効率的な市政の運営
が求められる。

議会終了後、地域での

副島 地域との対話集会
は、どういう形、単位で
おこなうか。

市長 それぞれの行政区
単位でもいいし、行政区
2地区、3地区協議いた
だき、適当な場所があれ



▲みずすまし（公共下水処理場）稼働開始

ば、ということをお願い
している。

塩田地区では、5月の
中旬ぐらいまでは、大体
週に3回から4回程度で
おこなうつもりである。

副島 自己責任ができる
職員の指導をし、親しみ
を感じる市役所にしてほ
しい。

市長 市民の立場を理解
し、行政の専門職として
認められる努力が大切で
あり、専門的な知識を
もった他行政体からの職
員招請も推進したい。

一般質問に15人

初議会



平野 社会体育館建設については、塩田町の長年の懸案事項でありながら先送りされ、現在県下で塩田町だけがない。

2町合併の中で新市のリーディングプロジェクトとして位置づけられ、昨年12月議会で宮ノ元地区を選定し、年内には決定すると杉光町長は答弁されているが、現在までの進捗状況はどうか。

市長 合併協議会で、社会体育館についてはリーディング事業で取り組む合意があり、新年度当初予算にも計上している。時期については、再度市民の意見を聞き、7月頃にはオフィシャルの検討委員会をたちあげていく予定だ。

社会文化体育館建設を 急げ

平野 昭義 議員

答 検討委員会を7月頃に

人口増加対策に企業誘致計画を

平野 この問題について、昨年12月議会で杉光町長は、新市において企業誘致の専門部署を置くこと答弁されているが、合併後において議論されているのか。

市長 できるかぎり早く、独立した企業誘致の担当を設置するよう努める。

また、市内の企業との意見交換をおこない、条件整備など必要があればおこなっていく。

平野 現在市内には、誘致企業は何社か。また従業員数を知りたい。

市長 昭和47年以降進出された企業は7社、従業員数は全体で595名、その内市内は202名である。

平野 都会と田舎の経済格差がひどくなっている。今日、この問題を真剣に取り組むために、企画課の中に職員を配置すべきではないか。

市長 企業誘致の推進には、チーム制・グループ制を導入し、はつきりした担当を設ける必要がある。ので取り組んでいく。

市長 企業誘致の推進には、チーム制・グループ制を導入し、はつきりした担当を設ける必要がある。ので取り組んでいく。

健康増進に パークゴルフを

平野 パークゴルフは、大人から子どもまで安全で楽しめるスポーツである。また芝生での散策は健康増進に最適であり、医療費抑制の上からもぜひ取り組むべきと思うが。

市長 嬉野町には、県内2番目のグランドゴルフの認定コースを整備している。手軽にプレーができる利点や競技人口など考慮したら、グランドゴルフがよいと思う。議員の提案場所にグランドゴルフ場整備を考えたい。



▲文化体育館候補地

ゴミの収集回数を増やせ

神近 勝彦 議員

答 現在、研究している



神近

リサイクルの推進によって、プラスチック類がゴミの多勢を占める状況になっている。

現在の収集は月1回である。リサイクルを今後も推進するなら、燃えるゴミの収集回数と同様におこなうべきだ。

市長

収集体制に問題が



▲リサイクルゴミ出し日

あり、回数をどのような形で徹底できるか、今研究している。

神近

収集について論議をしてきたのか。

市民生活部長

昨年の夏から研究してきた。

回数を増やすとなると平日となり、地区役員の協力がいけない地区もあった。

今後、行政嘱託員と協議して、早くできるよう検討していきたい。

神近

旧町のゴミ袋は、3月まで燃えるゴミ専用として使用できるが、各家庭にはまだ多くのゴミ袋の在庫がある。

使用期限を延ばすべきだ。

市長

1月から新市のゴミ袋を販売している。混在を防ぐために、切り替えを徹底したい。

4月9日と16日に総合

支所と市役所で、同価格での交換を予定している。理解してもらいたい。

神近

市民はお客様だ。2回の交換にとどめず、サービスを提供する立場で検討してもらいたい。

企業誘致を推進せよ

神近

嬉野市が今後、生き残っていくためには、

企業を誘致して雇用の場を広げる必要がある。現在の嬉野市の企業誘致条例は、限られた業種だ。

いろんな業種の企業が利用できるように緩和すべきと思うが。

市長

法令等をクリアすれば独自の施策として展開できると考える。

神近

工業団地という大規模な造成は必要ないが、嬉野地区と塩田地区に1万平方メートル程度の小規模な造成地は必要と思うが。

市長

適当な広さの造成は同意見である。

県もそのような方向性を打ち出しているのので、連携していきたいと思っている。

地区の自治体について

神近

嬉野地区は34名、塩田地区は54名の合計88名の行政嘱託員が委嘱されている。多すぎて会議ができるのか危惧する。

市長

基本的には統合を進めるべきと考えるが、行政嘱託員の会で論議をお願いしたい。

嬉野総合支所にエレベーターを

副島 孝裕 議員

答 再整備計画をつくり検討したい



副島

嬉野市の合併に伴い、本庁と総合支所の設置になり機構が変わった。2階、3階空き部屋の有効利用を図るため、エレベーターの設置を。

市長

今後、旧施設の余剰スペース全体の利用計画、再整備計画を作ることから始めたい。

副島

バリアフリーの解消や高齢者・身障者への配慮などを考えると早急なエレベーターの設置が必要と思うが。

市長

旧施設の利用などについては、若干法的課題がある。情報管理、セキュリティの問題もあるので検討したい。

副島

将来に向けた総合支所の活性化を考えた場合、縮小や廃止の歯止め策としても必要と思うが。

市長

以前にも設置を検討したが、予算的課題があり、クリアできなかった。

トータルの本庁舎、総合支所、その他の施設の有効利用を充分検討してみたい。



嬉野幹部派出所の 警察力強化を

西村 信夫 議員

答 現場警察力の確保を
要請する



新生嬉野市について

西村 市長就任挨拶で、

西村 新鹿島警察署に統合された場合、厳しい治安情勢の中で、現場警察力の強化が図られるか、市民は不安である。市長の考えは。

市長 新しい体制の充実強化を強く訴えている。

現体制とは異なるが、現場警察力の確保を要請していく。

西村 市民サービスに関わる運転免許証の講習や交付手続きはどうなる。

市長 日常の窓口業務や相談、指導などは現状と変わらない。

特殊な届出や取締りは、鹿島警察署でおこなわれ

る。

「市民に信頼される市役所づくり」を掲げ、実行すべき項目と「働きがいのある職員を目指す」重点実施目標を明記されているが、具体的に示されたい。

市長 嬉野・塩田の町の歴史を理解し、先人のご努力を常に感じながら仕事をします。

温故知新を実践するためにも、両町の町史の読破を指示した。

具体的項目は、出勤退庁の挨拶。電話の際はまず部課名と個人名を名乗ってから対応する。

来客の場合は席を立てて挨拶する、など他17項

目を指示した。
西村 「市民サービス優先」を強く主張されている。

特に役所窓口業務は、満足度の高いサービスの提供を心がけねばならないが、市長の考えは。

市長 窓口サービスは、市役所の顔として大事に考えている。

親切に細やかにスピーディーに取り組むことが大切である。

人員の効率的な配置により対応したい。

西村 電話の対応は、部課名と個人名を名乗る。この件は市民との約束事項として徹底されたい。

市長 徹底できるように指示する。

指定管理者制度について

西村 全国の自治体は、今年の9月までに「直営管理」を除き「公の施設」は指定管理者に移行することが義務付けられている。

塩田町の志田焼の里博物館、楠風館の指定管理者導入計画を明確に。

市長 志田焼の里博物館や楠風館は指定管理者の公募をおこない、選定委員会に諮る計画で、6月議会の議決を視野に進める。



▲住民の安心感と安全はどう変わる



▲どう生かす3階の空き部屋

重要伝統的建造物群 保存事業について

副島 県内では、有田町に続き2番目の重要伝建保存地区に選定された。

嬉野市としての対応は。

市長 今回の指定に向けて尽力いただいた皆様にご敬意を表する。

今後は地域の皆さんはもちろん、市民全体のご理解、ご支援が必要である。

副島 重要伝建事業と志田焼の里博物館・肥前吉田焼窯元群・嬉野温泉・不動山の大茶樹など点と点の結び合いによって、嬉野市の大きな面のある

観光資源になると思うが。
市長 将来の主要施策の柱に、観光施設の整備と人材の育成を掲げた。

塩田地区の伝統的建物・産業・人材の連携と嬉野地区のお茶・温泉・やきものなどのルートづくりを視野に入れ、体験型・連泊型温泉地への可能性を求めている。

副島 塩田津整備について、次の世代に受け継ぐためにも、青少年育成事業との結びつきは。

市長 将来を担う小・中学生に、この塩田津の意匠をぜひ解ってもらおう努力したい。

茶研修センターの建設は

田中 政司 議員

答 今後は規模、設備などを精査する



最終的な確認はできていない。

田中 今後はどう取り組むのか。

市長 18年度の予算で建設に向けた正式な組織を立ち上げ、現在までの協議を踏まえながら、場所や規模などの最終的な取りまとめをおこなう。

市役所窓口の日曜サービス実施について

田中 市役所に対する市民の信頼度やサービス向上、あるいは融和を図る上にも日曜日の窓口サービスを実施しては。

市長 年度末や年度始めには計画している。

人的な課題もあるが、広域組合の電算の課題もあり、現在のところ通常の日曜開庁は予定していない。

公衆浴場古湯温泉の早期再建を

秋月留美子 議員

答 できるだけ早急に取り組みたい



合併特例債のリーディング事業で取り上げている。意見を聞きながら慎重に取り組んでいきたい。

秋月 住民のなかでは、もうこれ以上待てない、との声もあがっている。

社会文化体育館については、7月頃に委員会を立ち上げたいとのことだが。

古湯再建も同じリーディング事業として完成は同時期なのか。

また、住民のための施設か、観光か、重点はどちらなのか。

市長 できるだけ早急に取り組み、地元の住民のための施設として再建したい。

秋月 早期実現のための取り組み方を具体的に。

①費用は②市役所の担当部署は③外観は④今後のスケジュールは。

市長 ①土地代を含めて4億円から5億円②企画課③大正時代に建設された形を再現④来年設計、再来年着工したい。

秋月 平成16年6月に景観法が公布され、昨年12月に県の町村で初めて景



▲古湯温泉創設ごろ（すみれ写真館提供）

いみ問題について

観行政団体に指定されたと聞くが、景観計画の取り組み状況は。

市長 古湯周辺を中心に取りまとめをすることで県との調整を済ませた。

大正ロマン風の地域として、整備をしていきたい。

秋月 公衆浴場古湯温泉の早期再建を願って、伝建選定となった塩田津との新たな観光ができることを期待する。

秋月 旧町ごみ袋の使用期間の暫定処理を

市長 4月9日・16日。再検討もするが、2日間で市のごみ袋と交換をしてほしい。

秋月 プラマークの収集回収を増やすべきと思う。

また、リサイクルごみの行方など市報で載せてほしい。

市長 再利用の考えから取り組んでいる。先進区も多数あり定着させたい。市報とか回覧板で取り組みたい。



▲茶ミット会場

時間外交付のサービスはおこなっており、時間内に電話などで申し込んでいただき、土曜・日曜に受け取っていただければと考える。そういう点を今後PRしていく。

少年スポーツクラブの大会に市長杯を

田中 各スポーツクラブ主催の大会を市長杯と位置づけ、支援できないか。

市長 首長が主催しているのは少ない。できる範囲での支援はしていきたい。

古湯温泉の再建は

園田 浩之 議員

答 本年度計画・来年度設計



園田 古湯温泉の再建の用途は。

市長 本年度計画を練り、来年度設計。

建物は大正ロマンを整備の方向とする。

予算は3億から4億で、しっかりとした計画をつくって取り組みたい。

警察行政について

園田 旧塩田町と旧嬉野町が合併して、本庁が塩田町に置かれた。

今後犯罪の抑止力、防犯のためにも24時間体制の派出所（交番）の設置を県に要請される考えが

あるか。

市長 複数勤務の交番について鹿島警察署に意見は伝えたいと考えている。

園田 重要伝統的建物群の保存地区に昨年選定され、塩田町の観光客の増加も十分に考えられる。

塩田町住民の安心感と観光客の安全な行楽のためにも、24時間体制の警察官の見える派出所（交番）の設置を、塩田町民も強く望んでいる。

一日でも早く実現できるように、働きかけを強く要望する。

洋式トイレの早期改修を

園田 公共施設のトイレは車椅子で利用できる割合は。

市長 全体の施設の26割程度ではないかと思っている。

園田 和式と洋式の数と割合は。

総務部長 旧嬉野町は210ヶ所中27が洋式で13ヶ所、旧塩田町は99ヶ所中23が洋式で23ヶ所である。

園田 足腰の悪い方には講演会・式典・老人会などが開催されても洋式の

トイレがない施設には行きたくても行けない。特に不動ふれあい体育館などの集会場は是非洋式の設置を早急に願いたい。

総務部長 一つずつだけでも進んで改良していくということ考えている。

園田 私の任期中4年間、定例会ごとに質問をさせていただき、その進みぐあいを確認していく。



▲早期再建を望まれる古湯温泉の跡地

農業問題に どう対応する

野副 道夫 議員

答 以前の制度も研究しながら
指導していく



りに努力する。

野副 山間地域の農業が切り捨てられるような施策であれば、決して許される施策ではない。

市長 集落営農に取り組まなければ、農村自体が成り立たないということも背景にある。

野副 今後の指導体系として、生産意欲が持てる指導が必要で、ややもすると農用地の持つ多面的な機能が損失することになる。

市長 地域営農実践協議会を中心に、関係機関と協力して地元説明会を実施している。

野副 国が示している一定の要件を満たすことのできる地域は問題ないが、要件を満たすことのできない中山間地域が問題であると思うが。

市長 当面は面積を広げて、集落営農の体制づく



事に育ててもらいたい。
市長 どの範囲まで組織づくりができるかというのは厳しいが、以前の制度なども研究しながら指導していきたい。

地域コミュニティの
推進は

野副 まちづくりは、人づくりといわれるように住民と行政、人と人との信頼関係があつてこそと思うが。

市長 市民参加によるコミュニティ検討委員会を設置して、基本構想を策定したい。

教育長 社会上の課題を、地域と学校とが協力して解決していくことで、コミュニティの活性化を図りたい。

野副 役所の中では企画課が核になるが、他の部署との連携は。

市長 各部横断して、チーム制・グループ制を利用していきたい。

集落営農の推進は どうなっているのか

深村 繁雄 議員

答 真剣に取り組みたい



深村 平成19年度から導入する品目横断的経営安定対策は、価格政策から担い手経営に大きくかじを切った改革である。

現場では、生産者・JAグループ・関係機関一体となり農業農村の将来を託せる担い手づくりが急務になっているが、今



▲大型農機はそろえましたが

回の農政の大転換の対応に、集落及び農家は平坦部を中心に話し合いが進んでいると聞くが、組織の立ち上げも時間的に近まっている状況の中、市長は、この施策をどう取り組むのか。

市長 足腰の強い農業経営の、基盤作りを目指す農家の育成に、補助も集中され、市として真剣に取り組みたいと考えている。

現状では、専業農家の

比率が少ない、耕作面積不足、機能拡大ができていないなど、対応に苦慮し

ているが、地域の将来の方向性を話し合い、対策を取ってもらえるよう切望する。

また、国・県のソフト事業を活用し、多くの地区で組織作りを推進したい。

深村 平坦地域と中山間地域の特性も違いがあるが、知恵を結集してよりよい形成に向けて、一体性を持った潤いのある活性化を見出せないか施策方針は。

市長 平坦地については、集落営農に取り組んでもらうよう考えている。

野副 地域コミュニティの推進は、通り一遍の推進ではなく、時間をかけて確実なものにしたい。



▲ここできるか集落営農

集落営農で 生き残れるか

太田 重喜 議員

答 ？ ？ ？



太田 集落営農の規模と法人化は。

市長 20 鈔以上・5 年以内の法人化。

太田 自立した経営体として成り立つか。

市長 認定農業者が担い

手の柱となり、地域の理解を得て早期に自立する必要がある。

太田 市内での取り組みは。

産業振興部長 具体的に進んでいる地域はない。

太田 認定農業者の認定要件の中に新たに「減反遵守要件を守ること」が入っているが。

支所農林課長 生産調整をする必要があり、しな

いと認定からはずれる。

太田 小規模農家の切捨て策だ。「職業選択の自由」をうぼうものだ。地域の実情を農水省へ意見具申せよ。

産業振興部長 農業施策が転換されたと認識しており具申は考えていない。

太田 集落営農推進は、JA の農家囲い込みになる。JA との決別の時では。

任意組合への 法人税課税

太田 共同製茶工場・農産物直売所などの任意組

また、個別営農の担い手については、そのほとんどが複合経営で個人を担い手に位置付けた場合、集落の農道や水路、畦畔及び圃場の水管理に影響を及ぼすため、できれば集落営農で取り組みたいと考える。

深村 合併を契機に農畜産物特産品を関係団体、

観光等々とのタイアップをし、合併効果の施策を講じるべきだと考えるが市長の見解は。

市長 今回の合併により一層相乗効果を期待する。一部では成果もみているが今後、関係団体とも連携し取り組みたい。産地消対策をどう推進す

合に「みなし法人」として5 年間のさかのぼって法人税が課された。

行政主導での共同化、設立であったが税務指導はしたか。

産業振興部長 課税状況は把握していない。組織

立ち上げ時に説明はしていない。

太田 現在の任意組合、機会利用組合などに今後税務指導をきちんとせよ。

支所市民税課長 込み入った問題には指導能力がない。

太田 支所の農委事務室が農林課とフロアーが同じで相談などに困っている。

市長 別室にするように検討する。

その他の質問

- ① 森林・林業活性化促進議員連盟九州大会の件
- ② 消防水利拡充の件
- ③ 議会会議録配布の件



▲みなし法人課税で苦しい農産物直売所

ハート・プラスマークの普及と設置を

梶原 睦也 議員

答 市報などでPRし
市民の理解を

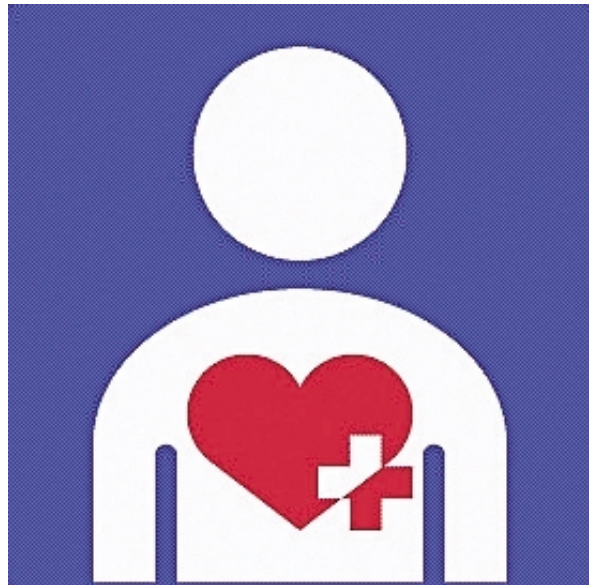


は320名。外見からは判別しにくいので困りになっておられる。市報などでPRしていきたい。担当課においてもそのような相談などがありましたら、ぜひこのハート・プラスマークを貼付していただくようにお願いしたい。

それについての理解も市民の方にぜひお願いしたい。

梶原 内部障害者（心臓・呼吸器・腎臓・膀胱・直腸・小腸の機能障害・人免疫不全ウイルスによる免疫機能障害により身体障害者手帳の交付を受けた人）が、安心して暮らせるようにハート・プラスマークの普及と設置を求めるが。

市長 市内に内部障害者



▲普及と認知が必 要なハート・プラスマーク

子どもたちを守れ

梶原 嬉野市における子どもたちの安全対策、特に登下校時における対策は。

市長 地域での対策については、いろんな機会を通じて継続してお願いしたい。そのためには防犯協会・PTAなど、いろんな組織の方をお願いして努力したい。

梶原 嬉野小学校と嬉野中学校の間を走る指定農道下宿内野線は、冬場の夕方ともなると真っ暗で、本当に大丈夫かと心配だ。防犯灯などの設置が必要である。

市長 農道の性格上、いわゆる照明施設等の設置というものが非常に難しい。

クリアできれば設置についても可能ではないかと考える。

集中管理の問題点は何か

山口 榮一 議員

答 所有者の所有権が関わってくる



山口 温泉の集中管理についてなかなか進展が見られないが、問題点は何か。

市長 所有者の所有権が関わってくる。今後管理の範囲、手法、組織、運営、費用などの問題について協議を再開していく。

通学路の安全確保を急げ

山田伊佐男 議員

答 今後も引き続き要望する



山田 通学道路として不動地区の子どもが通学する県道嬉野川棚線、大草野地区の県道塩田嬉野線の万才から橋山入口間は極めて危険性が高い。近々の改良が必要だ。

市長 嬉野川棚線は、現在馬場地区を整備している。

今後中不動・下不動地区の整備について引き続き要望していく。万才から塩吹間は地形の関係もあり通行に苦労している。

山田 防犯灯の設置を積極的にこない、下校時

く取り組む必要がある。市長の早い決断と対応をお願いしたい。

大茶樹周辺整備を 早急に

山口 大茶樹周辺の整備を地域の振興策として、嬉野観光の拠点として、早急な整備が必要と思うがどうか。

市長 周辺整備については、まず水路の整備から取り組んでいきたいと思っているが、どうしても補助事業に対応できないものがない。再度検討していく。

関所跡整備について

山口 長崎街道、関所跡整備について教育長の率直な考えは。

教育長 長崎街道の整備計画について、整備方針とか復元の状況など、総合的に取り組む必要がある。

実際に歩いた人の意見を尊重し、整備を進めなければならぬ。

市長 市外の方にも解っていたら看板整備に取り組んでいく。



▲保護・保存に万全の策が望まれる天然記念物の大茶樹

長崎街道を活かした 観光施設を

山田 街道を活かしたまちづくりと観光客誘致施策は考えているか。

市長 観光客にも長崎街道を歩くコースづくりができれば旅行商品になると思う。

街道の状況を確認しPRできるポイント確認と表示などの方法を研究する。

障害者に就労支援を

山田 障害者自立支援法により応益負担となる、障害者の生存権を揺るがすことにならないか。

市長 国の財政責任が明

確になった。低所得者の方にはきめ細かな制度化がなされている。

山田 就労支援について具体的にはどのようなように考えているか。

福祉部長 障害者就業生活支援センターの中で職安と連携し支援をしている。就労の場の確保に側面から協力する。

山田 障害者の負担は増える。

収入確保には就労支援が大事であるので一生懸命努力をされたい。

その他の質問

企業誘致について

法令遵守は どのようにする

芦塚 典子 議員

答 難 しいが努力していく



ていく。

芦塚 新しい市政づくりは市の財政を市民に公平、有効に配分活用できるよう行政財政を効率的に運用することである。

そのためには行政財政運営の透明化を徹底的に進めることだが、まず情報公開をどのように進めるのか。

市長 できるだけ迅速に情報を公開したい。

芦塚 情報公開で黒塗り部分を市長の査定にできないか。鳥取県では黒塗り部分は知事査定で、黒塗り部分をなくすよう努めている。

市長 十分慎重に検討し

芦塚 警備関係の入札において、文化センター、ふれあい館、給食センター、嬉野小中学校、吉田公民館はほぼ100割の落札価格だ。

総務部長 1年目に競走入札すれば、2年目3年目はそのままの価格で見積入札をしていた。

芦塚 普通、随意契約は3社から見積書を取って、一番低い業者と契約をする。

旧町は、見積価格と入札価格がほぼ100割で一社独占状態である。

独占体制であるから警備料金が近隣市町村より2倍から4倍になっている、長期に渡って住民の税金が無駄に使われている。しかも今回、条例によって長期継続契約が可

能になり、3年から5年、改革の道が封印されてしまふ。どのように考えているか。

市長 初めての指摘でよく判断ができないが、そのような状態だったら改革しなくてはならない。

芦塚 入札価格の斤外漏洩、官製談合の常態化、入札制度の形骸化など市民の信頼を失墜させている。

行政改革のスタンスを大きく変える時期である。近隣市町村では2社から3社、県では8社の業者が入っている。

随意契約という名のもとで、こういう不透明な入札が行なわれている。これを透明性のある公正な公開入札制度に変えていく考えはないか。

市長 近隣市町村を調査して見たい。

芦塚 合併して重要な時期だ。行政事務の効率化、経費の節減が最大の課題である。

大胆な行政改革を推進し、行政サービスが市民にいき渡り、平等に恩恵が受けられるよう首長のイニシアティブを発揮して欲しい。



▲多面的な視野での行政の見直しを（後方面から見た本庁舎）

議 長 交 際 費

平成18年2月13日～3月31日現在（単位：円）

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	0	0
会費	2	15,000
その他	1	5,000
計	3	20,000

- ・御祝い 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 公的性格を有する団体との協議会費
- ・その他の内訳
吉田おやまん陶器祭り 副賞(図書券)5,000円

西九州新幹線 対策特別委員会を 議員全員で設置

九州新幹線西九州ルート
の整備に関しては、依然として並行在来線の自治体の反対や地元負担金に対する不安など、懸念される材料は残る。

嬉野市においては、嬉野温泉駅の建設による、観光客の増加など地域の活性化、地域経済の発展
に大きく関わる大事業であることは間違いない。議会においても、九州新幹線西九州ルートに関する研究・提言をおこなう必要があると考え、議員全員が委員となって「西九州新幹線対策特別委員会」を設置することになりました。

市民の声

3月議会を傍聴して



新生嬉野市の 初議会を傍聴して

塩田町 橋口 隆司

合併後の初議会が開催され2日間傍聴することができました。

議員の皆さんの新生嬉野市への期待、合併することによって生じてくる

議会を傍聴して

嬉野町 佐々木光子



1月1日に塩田町、嬉野町が合併して新しく嬉野市が誕生いたしました。早速おこなわれた市議会議員選挙。いつもの選挙と違い、お名前もお顔も初めての方が多く、新

しい町づくりが展開されることを予感させてくれるものでした。

22議席に対して23名の立候補があり、私の住む下宿地区にも支持を訴える力強い声が響き渡りました。

そして22名の議員さんが選出されました。その中に2名の女性議員さんが含まれていたことは、男女共同参画の意味においても、とても喜ばしいことでした。

20代が1名、40代が3

であろう諸問題に対する不安、両町出身の議員の皆さんが一堂に会しての緊張感、質問や答弁全て初めてのことで、傍聴していて違和感をもつのは止むを得ないことかもわかりません。

新市の活力ある街づくり、深刻な農業問題、企業誘致、観光資源の開発、教育の街づくりなどが山積みしており、執行部・議会共に本腰を入れて頑張っていたいただきたいと思っています。

名、50代が13名、60代が

4名と非常にフレッシュな顔ぶれが揃い、私たちと同世代の方々が数多く活躍して下さることに親近感を覚え、とても期待しています。

3月に初めての定例議会が開催され、一般質問の傍聴にいかせていただきました。

まず議場の印象ですが、新しく綺麗だなと思いました。質問の残り時間も掲示されていて、分かりやすくなっていました。

谷口市長の精力的答弁、地域に於ける対話集会の組織などから、初代市長としての意欲的姿勢は、十分にうかがうことができました。

15人の皆さんの質問要旨を見て、新生嬉野市に於ける教育の今日的課題が取り上げられていないのが残念です。

6月議会に期待いたします。

あえて、社会文化体育館について申し上げます。10数年来、塩田町の文

傍聴席もとても立派でしたが、位置が高すぎて手前の議員さんが見え辛く、少し距離を感じたのは残念でした。

今回、15名の議員さんが一般質問をされていていましたが、できれば全員の議員さん方の発言をお聞きしたいものだと思います。

これからも市民の声をしっかりと受け止めていただき、あらゆる角度から質問をしていただきたいと思っています。

文化活動に参加して、会員・町民の皆さんから強く指摘されてきたのは、文化施設の不備でした。

唯一、364人しか収容できない町公民館での文化祭、ステージも狭く、照明装置も音響効果も極めて不十分です。

また、町老連の総会は、中学校の体育館を借用しなければなりません。

町は、これまで「文化の町塩田」を高らかに標榜してきましたが、県下49市町村の中で、十分な

私自身、合併による不便さも多少感じてはいますが、お互いの良いところを学び合い、理解し合って、嬉野市にあった独自の在り方を模索し、提案していけるよう、行政に関心を持ち、嬉野市発展のために力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

今回、数名の議員の皆さんからの提起に対し、谷口市長は、前向きな答弁をしていただきました。早急に、建設に取り組んでいただくことを強く要望いたします。

文化施設のないのは、富士町と塩田町だけだと強く指摘し、文化協会・老人クラブ連合会・地域婦人連絡協議会などの連名で建設要望書を提出して今日まで要求し続けてきました。

今回、数名の議員の皆さんからの提起に対し、谷口市長は、前向きな答弁をしていただきました。早急に、建設に取り組んでいただくことを強く要望いたします。

人事

助役に古賀一也前市長
職務代理者を同意しまし
た。

監査委員に識見は西川
平七氏、議会選出は芦塚
典子氏の選任に同意しま
した。

古賀 一也氏（58歳）
塩田町大牟田

西川 平七氏（64歳）
嬉野町温泉1区

芦塚 典子氏（56歳）
塩田町原町

新市発足で大変なご苦
勞が予想されます。
今後のご活躍をお願い
します。

助役・監査委員 に同意しました。



芦塚典子氏



西川平七氏



古賀一也氏

教育委員会委員が 決まりました。

委員長	副島 武直氏（59）皿屋区
職務代理	太田 保男氏（65）井手川内区
委員	杉崎 司郎氏（61）下宿区
委員	光武 靖子氏（62）南下久間区
教育長	池田 修氏（63）塩吹区

議会広報編集委員会 が動き始めました。

総務企画・文教厚生・

産業建設それぞれの委員
会より2名づつ選出され
6名で構成されておりま
す。専門の特別委員会を
作るか否か、全体協議会
で2度・3度協議を重ね
ました。

その結果大変な作業で
あった旧町議会で製作
していたレベルの「議会
だより」を作り上げる広
報編集特別委員会を設け

ることに決定しました。

広報委員を経験した議
員は2名で、完成するま
で延べ12日間と時間もか
かりましたが、「いい勉
強になった」と、残る4
名の委員は同じ思いです。
歴史・文化・産業が異
なった2つの町が、夢と
希望を抱き動き出しまし
た。

聖徳太子は、十七条憲
法で「和を以って貴しと

為す」と明記されていま
す。

私たちは、市民の先頭
に立ち基礎づくりに汗を
惜しんではなりません。

新市の発展の礎は何よ
り市民の「和」です。

この創刊号の編集には、
経験ゆたかな、三名の議
員に多大な協力を得まし
た。



▲一息入れる編集委員

議会広報編集委員会

委員長 國田 浩之
副委員長 平野 昭義

委員 太田 重喜
川原 等
副島 孝裕
小田 寛之